# 東京大学法科大学院同窓会の 現状と今後 ~同窓会役員からのご報告~

会長 大野憲太郎

#### 目次

I 報告事項

Ⅱ 同窓会とは?

Ⅲ 同窓会の活動状況

Ⅳ 今後の同窓会活動について

# 報告事項

- 規約改正
  - 目的・活動条項の整備
  - 役員を理事補佐からも選任可能に変更
  - 資産・会計に関する条項を追加

#### 目次

I 報告事項

Ⅱ 同窓会とは?

Ⅲ 同窓会の活動状況

Ⅳ 今後の同窓会活動について

同窓会の目的 規約第3条(目的)

本会は、東京大学大学院法学政治学研究科法曹養成専攻(以下「東京大学法科大学院」という。)に在学していた者その他東京大学法科大学院関係者相互の交流を図り、親睦を深めるとともに、東京大学法科大学院の発展に寄与することを目的とする。

• 同窓会の活動

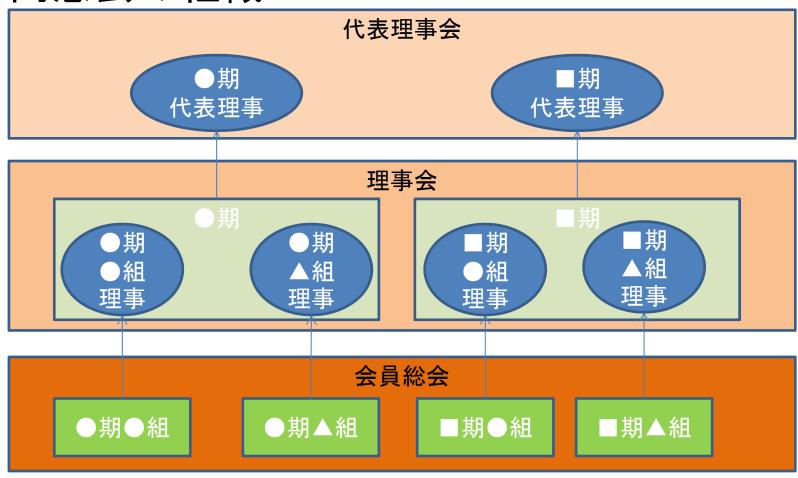
規約第4条(活動)

本会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- 一 同窓会の開催その他会員相互の交流を図るための活動
- 二 東京大学法科大学院の活動への支援及び協力
- 三 その他本会の目的を達成するために必要な活動

- 同窓会の構成員 規約第5条(会員)
  - ① 本会は、正会員及び特別会員により構成される。
  - ② 正会員は、東京大学法科大学院に在学していた 者とする。
  - ③ 特別会員は、次の各号に定める者とする。但し、前項に該当する者を除く。
    - ー 東京大学法科大学院において講義を担当した者
    - 二 その他東京大学法科大学院に関係のある者で理事 会が認めた者

• 同窓会の組織



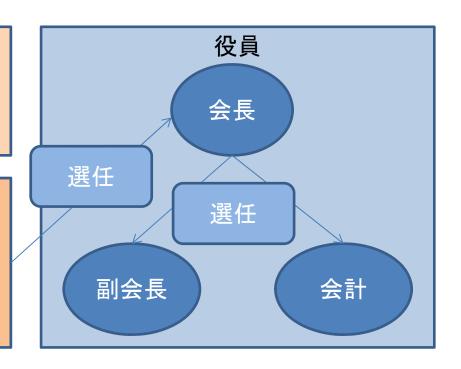
#### • 同窓会の組織

#### 代表理事会

(各期代表で構成する通常業務に 関する業務執行機関)

#### 理事会

(各クラス代表で構成する重要業 務に関する業務執行機関)



会員総会 (正会員全員で構成する最高機関)

#### 同窓会役員のご紹介

会長 大野憲太郎 1期(2006年修了)

副会長(企画担当) 井 上 拓 5期(2010年修了)

副会長(広報担当) 津田宜秀 6期(2011年修了)

副会長(総務担当) 藤 井 塁 7期(2012年修了)

会計 石 戸 信 平 1期(2006年修了)

#### 目次

I 報告事項

Ⅱ 同窓会とは?

Ⅲ 同窓会の活動状況

Ⅳ 今後の同窓会活動について

• 同窓会の活動状況の概要 会員相互の交流を図るための活動 同窓会の開催 ホームページの立ち上げ メーリングリストサービスの提供 東京大学法科大学院の活動への支援及び協力 在学生向け企画 未修者指導講師

- ホームページの立ち上げ 同窓会ホームページを準備中。
  - → 本日撮影した写真の一部をホームページに利用したく、ご了承ください。

なお、本日撮影した写真は、ホームページで共有したく、ID・パスワードは本日登録いただいたメールアドレスに送付します。

facebook

https://www.facebook.com/dosokai.utsl



メーリングリストサービスの提供 クラスメーリス等、同窓会関係のメーリングリストを 提供中。

利用希望者は、<u>dosokai@utsl.ne.jp</u>までご連絡ください。

在学生向け企画 「働く先輩に聞いてみよう!-2013-」

2013年10月17日(木)18時~@22番教室 修了生6名による座談会

本年度は、大学主催の進路選択系講演会に同窓 会より講師2名を派遣する予定

その他、在学生からの要望も踏まえて検討中。

• 未修者指導講師

修了生が、未修1年次生に対し、法的な文章を書くための指導をするもの。7月下旬から始動予定。

未修1年次生に対し、基本科目担当教員から、履 修中の基本科目のうち、毎月2科目について、論述 問題(1000字程度の解答を想定)を出題。

未修者指導講師が答案を添削する。

#### 目次

I 報告事項

Ⅱ 同窓会とは?

皿 同窓会の活動状況

Ⅳ 今後の同窓会活動について

• 組織改革の必要性

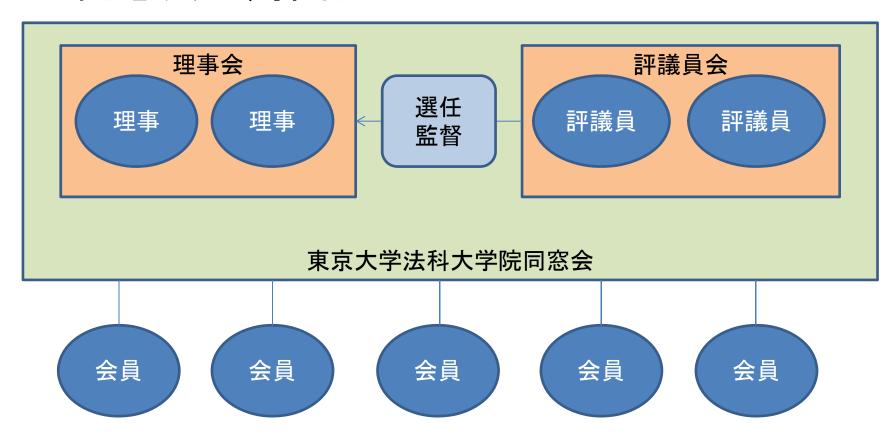
修了生全員を構成員とする組織であり、最高意思 決定機関は全員を構成員とする会員総会

→現在の人数規模では、会員総会における実質的 意思決定が困難



同窓会執行部を会員総会から切り離し、修了生を 持分権者にしない構成は可能か?

• 同窓会の財団化



• 新しい同窓会の組織構想 現状の理事は?

→クラス幹事(連絡担当)として存続

現状の役員は?

→新組織の理事へ移行

新組織の評議員は?

→特別会員(教員)と正会員(修了生)から選任?

• 来年度の同窓会(予定)

日時:2015年7月18日(土)18時~

場所: 伊藤国際学術研究センター

